

2026年7月1日

安田不動産株式会社

報道関係各位

**日本橋浜町にて既存ビル2棟の一体再生によるホテルへの改修工事着工  
株式会社水星を誘致し、新たなスモールラグジュアリーホテルを開発**

安田不動産株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：安田 守）は、当社がまちづくりを進めている日本橋浜町において、「（仮称）日本橋浜町 311・312 ホテル改修計画」（以下、「本計画」）の改修工事が着工したことをお知らせいたします。本計画は、隣接する既存ビル2棟を用途変更の上一体的に改修し、1つのスモールラグジュアリーホテルとして再生いたします。ホテルオペレーターには株式会社水星（所在地：京都府京都市、代表取締役 CEO：龍崎翔子）を迎え、ホテル開業は2027年春を予定しております。



photo: go itami

**■まちの文脈を継承する、既存建物を活用した計画**

本計画は、日本橋浜町が長年育んできた歴史と暮らしの文脈を継承しながら、既存建物の価値を活かしたホテル開発を行います。本建物では宿泊にとどまらず、飲食・物販・地域との連携を通じてまちにひらかれた拠点づくりを目指しており、新しい滞在のかたちを提案いたします。

## ■新たな滞在価値の創出

本計画は、まち全体の魅力を高める取り組みの一環として、外部から訪れる方のための施設であると同時に、地域に暮らす方々の日常とも接続する場として位置づけています。1 階にはまちに開かれたレストランやカフェ、ショップを設け、滞在者と地域住民が自然に交差する導線を計画しています。東京観光の拠点としてだけでなく、日常の延長線上にある場としてまちの滞在性と来街性を高め、日本橋浜町の空気やリズムを体感できる拠点を目指します。

ホテル運営を担う株式会社水星は、ホテルを単なる宿泊施設ではなく「人と人」「人と空間」「人と文化」を媒介するメディアとして捉えており、本計画においても、日本橋浜町という土地が持つ文脈を踏まえた滞在体験を提供いたします。

## ■株式会社水星について

株式会社水星は、ホテルの可能性を広げ、人生の新しい選択肢を生み出していく「ホテルプロデュースカンパニー」です。

「香林居」「HOTEL SHE, KYOTO」「HOTEL SHE, OSAKA」「ホテル雲井」などを展開するほか、ホテルプロデュース事業や、関連会社の株式会社 CHILLNN での直接予約エンジン「CHILLNN」の開発・運営など、ホテルを起点とした事業を展開しています。



香林居

## ■当社の日本橋浜町におけるまちづくりについて

当社は、日本橋浜町において、“住み続けられ、働き続けられるまちづくり”を目指し、「日本橋浜町 F タワー(1997年)」、「トルナーレ日本橋浜町(2005年)」等の大型オフィスビルや住宅を開発し、2015年から、エリアの差別化を図るため、まちづくりコンセプトを“「手しごと」と「緑」の見えるまち”と定め、日本橋浜町でしか体験できない路面型店舗を開発誘致しています。大規模再開発(面開発)ではなく、中小規模開発(点开発)にて路面型店舗を継続して開発誘致することで、エリアの魅力や活力の向上を図ってきました。2015年度開業の「浜町かねこ(そば)」「谷や和(うどん)」「富士屋本店日本橋浜町(フレンチ)」に始まり、2019年には、新しい文化・コミュニティを創出する場として複合施設「HAMACHO HOTEL&APARTMENTS」、2020年には「T-HOUSE New Balance」、2022年には「Single Ohamacho(コーヒー)」、2023年には「HAMACHO FUTURE LAB/ととのい研究所(サウナ付きランニングステーション)」、2024年には「浜町えぐち(寿司)」、2025年には「iiyu HAMACHO(賃貸住宅・都市型温浴施設)」、「Occitanial(洋菓子)」、「J.M.WESTON」、2026年には「日本橋浜町3-14計画(AM STRAM GRAMによるタルト専門店※予定)」の開発等を行いました。これらの取り組みにより、地域住民やワーカーの生活拠点となるだけでなく、国内外から多くのゲストを迎え入れることに繋がっています。

これらのハード面の開発と並行して、まちの賑わいづくりに資するソフト面の取り組みも行っています。地元住民(地域)や就業者(企業)との関係構築や交流促進を図るため、2015年に浜町マルシェを立ち上げ、2017年に地域交流拠点「Hama House」を開発し、情報交換や新たな繋がりをつくるイベントも開催しています。2020年4月に地元町会、商店街及び地元企業等とともに立ち上げた「一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント」は、2022年に都市再生推進法人の指定を中央区から受け、現在47者にて組織しております。

今後も、これらの中小規模の点开発(ハード面)と多様な地域活動によるエリアブランディング(ソフト面)を一体的に継続することで、日本橋浜町の個性あるまちづくりにより、地域住民や就業者の交流や街に対する愛着を醸成させるだけでなく、多様な人が訪れたい魅力的なまちづくりを目指して推進して参ります。

## ■ 日本橋浜町まちづくりマップ



## ■ 日本橋浜町における当社のハード面の取り組み

再開発物件 (1997年~2005年)

日本橋浜町Fタワー  
1997年竣工

日本橋安田スカイゲート  
2003年竣工

トルナーレ日本橋浜町  
2005年竣工

+

遊休不動産

大街区の再開発を行った一方で、同エリアには未活用の遊休資産が多く点在

中小規模開発物件(2015年~)  
“「手しごと」と「緑」の見える街”

浜町かねこ(蕎麦)  
2015年開業

富士屋(フレンチ)  
2016年開業

谷や和(うどん)  
2016年開業

Hama House  
2017年開業

HAMA1961  
2017年開業

HAMACHO HOTEL & APARTMENTS  
2019年開業

WAVES日本橋浜町  
2019年開業

浜町LAB.  
2020年開業

T-HOUSE New Balance  
2020年開業

TOKYO MIDORI LABO.  
2020年開業

ととのい研究所 Hamacho Future lab  
2023年開業

浜町えぐち  
2024年開業

スプラウト日本橋浜町  
2021年開業

iiyu HAMACHO  
2025年開業

## ■事業概要

施設名：（仮称）日本橋浜町311ホテル改修計画  
所在地：東京都中央区日本橋浜町三丁目1-1  
アクセス：半蔵門線水天宮前駅より徒歩4分  
東京シティエアターミナル（T-CAT）最寄り出入口より徒歩1分  
用途：ホテル、飲食店  
構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階建  
敷地面積：157.49㎡（予定）  
延床面積：815.14㎡（予定）

施設名：（仮称）日本橋浜町312ホテル改修計画  
所在地：東京都中央区日本橋浜町三丁目1-2  
アクセス：半蔵門線水天宮前駅より徒歩4分  
東京シティエアターミナル（T-CAT）最寄り出入口より徒歩1分  
用途：ホテル、飲食店、物品販売業を営む店舗  
構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階 地下1階建  
敷地面積：213.36㎡（予定）  
延床面積：1,118.78㎡（予定）

---

事業主：安田不動産株式会社  
ホテル運営：株式会社水星  
建築設計/監理：the range design株式会社  
インテリア/ファサードデザイン：Office Yuasa  
施工：株式会社エフピーエス  
開業予定：2027年春  
予定客室数：19室（7タイプ）  
付帯施設：レストラン、カフェ、スナック、ショップ

### <リリースに関するお問い合わせ先>

安田不動産(株) 経営企画部 広報担当

TEL 03-5259-0517 FAX 03-5259-0532

### <本物件に関するお問い合わせ先>

安田不動産(株) 都市事業創造本部 商業事業部 坂本・山本（さかもと・やまもと）

TEL 03-5259-0516 FAX 03-5259-0533